

馬淵川沿岸通信

平成26年3月
二戸地方営農推進対策委員会

県営畑地帯総合整備事業の実施に当たりましては、格別のご協力をいただき、ありがとうございました。

おかげさまをもちまして、給水栓、農道、排水路等は、順調に実施しております。

給水栓の水を有効に使うことによって、生産性の向上を図り、収益を上げていただくため、この「馬淵川沿岸通信」を作成しましたので、ご一読のうえ、営農の参考としていただければ幸いです。

※二戸地方営農推進対策委員会は、二戸市、一戸町での営農対策を進めるため、馬淵川沿岸土地改良区、二戸市、一戸町、JA新いわて、県北広域振興局(二戸農業改良普及センター、二戸農林振興センター・農村整備室)で組織している委員会です。

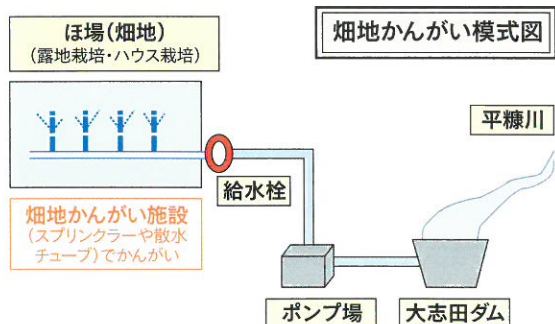
1 県営事業の進捗状況

H21年度に舌崎地区が完了し、H25年度に東・南奥中山地区の2地区が完了します。

事業期間、主要作物、事業量(畑地かんがいの整備面積)等は、次の表のとおりです。

H26年度以降は、男神・米沢・湯田地区及び奥中山中央地区の整備を進めます。

地区名	関係市町	事業期間	主要作物	事業量(畑地かんがい整備面積)		
				全体(ha)	H25まで(ha)	進捗率(%)
舌崎	二戸市	H12~H21	りんご、おうとう、きゅうり、 ホウレンソウ他	57	57	100
男神・米沢・湯田	〃	H21~H28		108	32	30
東奥中山	一戸町	H14~H25	レタス、キャベツ、ホウレンソウ、 促成アスパラガス、トマト、 みずな他	406	406	100
南奥中山	〃	H16~H25		57	57	100
奥中山中央	〃	H17~H27		190	120	63
計				818	672	82



地域の水源の「大志田ダム」全景

豊富な水を活用すれば、収益アップが実現します！

② 畑地かんがい展示実演会の開催

個別給水栓から出る水を農作物への水分補給として活用するためには、個別給水栓にスプリンクラーや多孔管などの畑地かんがい機材を接続する必要があります。

奥中山地区及び男神・米沢・湯田地区それぞれで、機材の使い方などを実演展示し、畑地かんがいを啓発普及しました。



(1) 奥中山地区(H25年5月30日開催)〔鳥越ドライブイン東側〕



散水チューブ(露地)



散水チューブ(ハウス内)



散水チューブ(吊り下げ)

参加者の感想

- みずなは栽培している1ヶ月間、フルに水分補給が必要。以前は、スピードスプレーヤーで川の水を運んできて散水していた。今は給水栓をひねるだけで良いので、非常に助かっている。今年はハウスを**3棟増設して6棟**にし、出荷量を倍増したい。
- 昔はジョウロでレタスに水をかけていたが、今は大変良くなった。
- 水が来たので、セロリに挑戦したい。

(2) 男神・米沢・湯田地区(H25年6月21日開催)〔米沢工区〕

受益者から、畑地かんがい機材の導入事業や使い方について説明してほしいとの要望があったことなどにより開催しました。機材の導入事業には、**県営事業、JA新しいわて所管の果樹事業、県単事業**の3事業があり、各事業の担当者から、それぞれの特徴、対象作物、留意点、申し込み期限などについて説明し、8月2日に再説明も行いました。

この**3事業の概要**については、最後のページに記載していますので、ご覧ください。



散水チューブ(おうとう)



ドリップチューブ(おうとう)



減圧弁・ストレーナの説明

参加者からの質問など

5月～6月に雨が少なかったことなどにより、畑地かんがいへの関心は高く、また、機材の導入可能事業を説明したことから、**事業導入に向けての質問が多数**ありました。

一例を挙げれば、**果樹に適する機材、設置費用、JA事業の導入のための必要資料(見積書等)、ストレーナの手入れ方法、継ぎ手の直径**などでした。

③ ハウス団地の推進

一戸町の鳥越ドライブイン東側では、農作物の通年出荷による安定収入などのため、トマトやみずなを栽培する機運が加速化し、続々とハウスが設置されています。(県単事業等を活用)

H25年度までに19棟(うち骨組みのみ6棟)設置され、将来は30棟以上にもなる見込みであり、町の一大産地を形成することになると期待されます。

なお、農村整備室では、その施設園芸へのシフトアップの動きに呼応してH26年度に、①効果的な散水機材の実証(作物別)、②機材導入前後の農家経営収支分析、③畑かんの達人(マイスター)の委嘱・出前講座の実施、④普及啓発パンフレット・看板の作成など、奥中山における施設利用型のステップアップのための事業を実施します。



H24年11月



H25年12月(ハウス19棟)

県営事業(南奥中山地区)でも、施設園芸への動きに
 応え、H24年度から順次、パイプラインや農道を整備しており、H26年3月に完了しました。

④ 畑地かんがいの効果

数ある畑地かんがいの効果のうち、当地域での主な効果を紹介します。

(1) 防霜効果(りんご・おうとう)

4月中～下旬に最低気温が氷点下となり、果樹が霜害を被ることが多くあったため、散水氷結法を採用し、多目的給水栓(スプリンクラー)を設置しました。

枝の表面が氷結している状況は、次の写真のとおりです。

[H25年4月20日 5:40]



二戸市男神工区(おうとう)

[H25年4月20日 5:00]



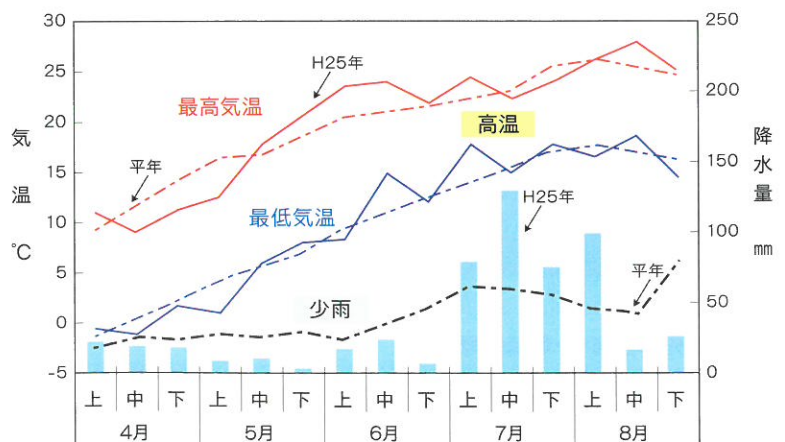
二戸市湯田工区(りんご)

【散水氷結法】

夜間に散水することによって、枝の表面は氷結しているものの、内部が0℃以下にならないように保ち、霜害を防ぎます。

(2) 少雨・高温への効果

H25年の5月～7月にかけて右のグラフのとおり、少雨・高温の天候となり、農作物への影響が懸念されましたが、県営事業で畑地かんがい施設を整備した畑地では、給水栓の水の活用によって、各作物とも安定した品質や収量を確保することができました。



(ア) りんご・おうとう

- かん水により、葉がしおれることなく樹勢が良くなり、次年度の花芽の形成に好影響。
- かん水により、りんごの木の丈が伸び、玉伸びも促進。
- 乾燥し過ぎによってりんごの若木が枯死するおそれがあったが、かん水により枯死被害を防止。



おうとうへのかん水
(二戸市男神工区)

(イ) 露地きゅうり

- 圃場全面にかん水した後にマルチ張りを実施したことから、マルチ内の土壌が適度に湿って定植後の活着(根張り)が順調に進み、初期生育が安定。
- A級品割合が増加。



きゅうり定植前のかん水
(舌崎地区)

(ウ) レタス

- 少雨によって生育が悪く、一部収穫できなかった圃場もあった(マスコミ報道)が、かん水した圃場では生育は良好となり、枯死株が減って大玉が増え、収量が増加。



レタスへのかん水
(東奥中山地区)

5 個別給水栓設置者を対象としたアンケート結果

H25年11月、県営事業で個別給水栓を設置した153名の方を対象として畑地かんがいに係るアンケート調査を行いました。

- スプリンクラーや散水チューブなどの畑地かんがい機材を導入している方は45%、導入したい方は30%であり、多くの方が導入済みあるいは導入を希望されていました。
- 畑地かんがい機材を導入している多くの方が、「品質が良くなった」、「収量が増加した」、「作物が弱のを防いだ」、「活着・生育が早まった」と答えられました。
- 「事業を実施して良かった」と回答された方は89%であり、高い評価を得ました。

6 畑地かんがい機材を導入できる事業

畑地かんがい機材を導入できる3事業の概要は、次の表のとおりです。紙面の都合で概要のみ記載しましたので、事業の詳細については、問合せ先までお願いします。

また、営農計画、県営事業の進捗、個別・共同給水栓の使い方などわからないことがある場合にも、気軽にお問い合わせください。

事業名	補助率	主な対象機材	留意事項	問合せ先
県営畑地帯総合整備事業	90%	スプリンクラー・耐用年数の長い散水チューブ	【対象】事業受益者 【注意点】機材の所有者は土地改良区であり、設置後に土地改良区と契約が必要	改良区 二戸市 一戸町
いわて地域農業マスタープラン実践支援事業	2/3	全ての散水機材	【対象】3戸以上の農家が組織する団体(うち認定農業者1名以上) 【条件】受益面積0.1ha以上 【H26事業の申込み状況】農家から県に、ハウスみずな用の散水チューブ約480坪分を申込み中	二戸市 一戸町
果樹経営支援対策事業	50%	果樹用の散水チューブ	【対象】果樹栽培農家 【H26事業の申込み状況】農家からJAに約4ヘクタール分の散水資材の設置を申込み中 【H27事業の実施の有無】現時点では未定	JA 新しいわて

【問合せ先の担当者・電話番号】

- 馬淵川沿岸土地改良区 中瀬・中村 33-2111(内)259
- 二戸市農林課 山口・横館 23-3111(内)535
- 一戸町産業課 和多田・猪股 33-2111(内)260
- JA新しいわて米穀園芸課 水 上 23-4355
- 二戸農業改良普及センター 久米・千田 23-9208
- 二戸農村整備室 山本・遠藤 23-9207